

ツモは利き手で

両手でツモをする人はいないと思いますが、利き手でない方でツモをするのもマナー違反です。両利きならともかく、利き手ではない方ツモをすするとうっかり手が滑って牌山を崩してしまうなんてこともありうることです。基本的に、対局中は使わない手を卓上に出さないようにしましょう。

先ツモをしない

捨て牌が通ってから、ツモ牌を持ってくる（この間に、ポン・チー・カン・ロンをする人は、遅滞なく発声する）

ツモ牌に手を触れたら、ポン・チー・カンは出来ない、してはならない

捨て牌は6枚で改行する

河とは捨て牌を置く場所です。6枚捨てたら改行して次の段に捨てましょう。同じように13枚目でまた改行します。

副露がなければ3段に綺麗に収まり、卓上がキレイになり、また、リーチから何巡目かなどもわかりやすくなりますし、誰のツモ番かを知るのに役立ちます。

プレー中のマナー（その3）

長考は控えめに★

長考は、行動選択時に、即座に決定・実行しない行為。

鳴くのか鳴かないのか、何を捨てるのか...即座に決定・実行しない

長考は、周りをイライラさせてしまいます。

長考とは文字通り長く考えることです。自分の番が来ているのに何を捨てるかが決められずに長考するのは進行の妨げになります

しかし、時にはちょっと考えたくなる場面もあります。そんな場合は、一言「すみません」と言ってから考えましょう。

ちなみに、何秒以上からが長考かという決まりはありませんが、長くても5～10秒程度に抑えたいものです。